

蓼科山山行報告（平成 28 年 8 月 27 日（土）－28 日（日））

天気： 27 日雨、28 日晴れ 参加者： 6 名

行程： 27 日（土） 新宿 7：00＝（JR 中央線）＝9：09 茅野 9：30＝（タクシー）＝10：30 大河原峠 11：15－12：15 双子池（昼食） 13：00－14：10 大河原ヒュッテ（泊）

28 日（日） 大河原ヒュッテ 6：55－8：40 將軍平 8：50－9：40 蓼科山山頂 10：10－10：55 將軍平 11：00－12：10 7 合目 12：15＝（タクシー） 13：05 茅野駅 13：33＝（JR 中央線）＝15：33 新宿（解散）

蓼科山は南北に長い八ヶ岳の最北端にあり、その端正な姿は「諏訪富士」ともいわれている。登山口が高いので、標高が 2,531m あるわりには比較的登りやすい山である。

27 日（土）、新宿発 7 時のあずさ 1 号に 4 名が乗り、9 時 09 分に茅野駅に着いて 2 名と合流した。茅野駅では土砂降りだったため、山小屋にタクシーで直行することにして 10 時 30 分に大河原峠に着いた。峠にある大河原ヒュッテにて宿泊手続きを取ったあと、双子池を目指す。雨の中双子山山頂を経由して 12 時 15 分に双子池に到着した。双子池ヒュッテで昼食後車道を歩き、14 時 15 分に小屋に帰り着いた。お風呂に入って冷えた身体を温めた後、宴会モードに突入、18 時の夕食後も明日の天気を心配しながら宴会は続いた。

28 日（日）、起床すると雲は多いが明るく、6 時 55 分に出発するころにはすっかり青空となった。小屋の裏から登山道は始まり、針葉樹林帯の中のきつい傾斜を登って、30 分ほどで傾斜がゆるくなり、8 時 20 分「赤谷の分岐」に着いた。予想外の晴天で樹林が途切れたところからは赤岳や阿弥陀岳などの山々が見えており 8 時 40 分將軍平に着いた。蓼科山荘前からは大きな岩の急斜面をよじ登り、9 時 40 分蓼科山頂に到着した。

蓼科山山頂（2,531m）は岩が積み重なった広大な広場となっている。樹が全くないので 360 度の見晴らしであるが、大分雲が増えてきて遠くの山もあまり見えなくなってしまった。下山後のタクシーを予約して、10 時 10 分に下山した。同じ道を今度は下るのだが、岩場をゆっくり下るし、登って来る人が多くなったのですれ違いにも時間がかかった。10 時 55 分將軍平着、7 合目登山口への道を下るが、太い丸太が沢山土砂に埋まっている荒れたコースである。最初は傾斜がきつくて歩きにくかったが、30 分もたつと緩やかな道となった。このころには霧が出てきたが、11 時 50 分に馬返しを通過、12 時 10 分に 7 合目登山口に無事着いた。予約していたタクシーに乗り、13 時 05 分に茅野駅に到着した。みどりの窓口で直近の 13 時 33 分発のあずさに変更し、15 時 33 分に新宿駅に着いて解散した。

今回は初日は大雨だったが翌日は晴天となり、山の天気はつくづく難しいと再認識させられた。蓼科山は初めての人もいたので、登ることができてラッキーだった。大河原ヒュッテは、車で横付けでき風呂もありおまけに個室もあるという便利な宿であった。今回行けなかった北八ヶ岳の池巡りにも再度挑戦してみたい。

（伊藤）



雨の双子山



雨宿り



大宴会



翌日は快晴



赤岳



蓼科山山頂